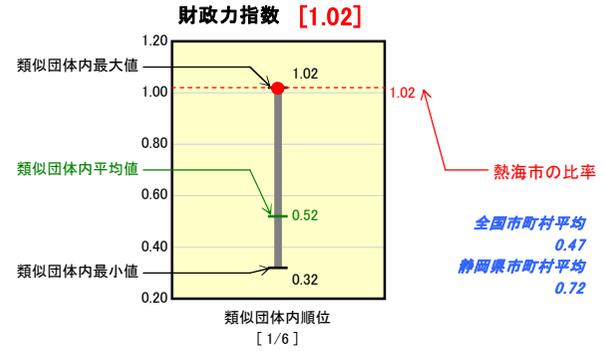


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

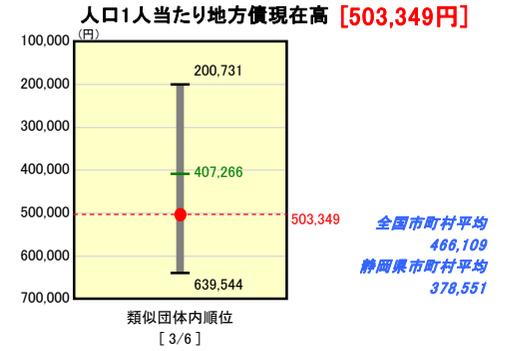
静岡県 熱海市

人口	41,904人(H17.3.31現在)
面積	61.56 km ²
歳入総額	20,424,952千円
歳出総額	19,811,834千円
実質収支	567,184千円

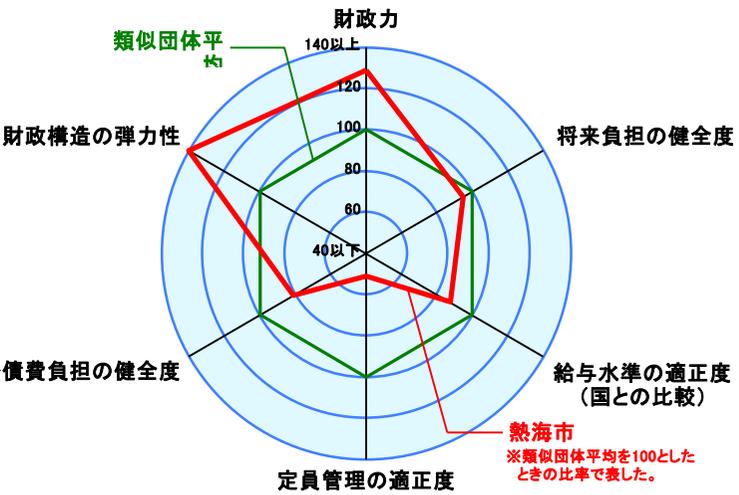
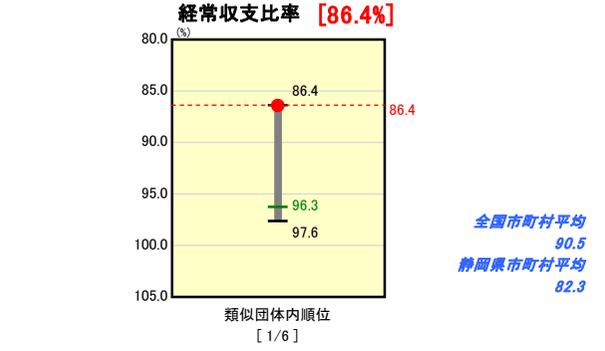
財政力



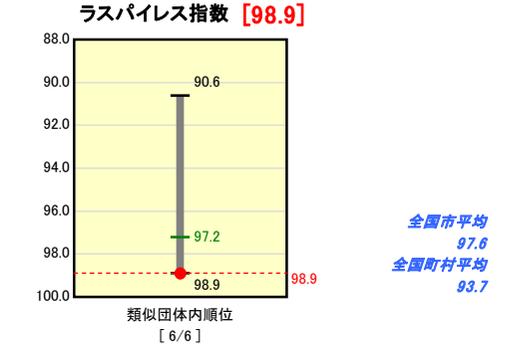
将来負担の健全度



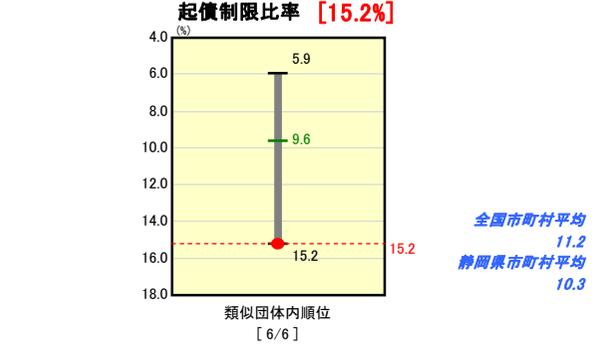
財政構造の弾力性



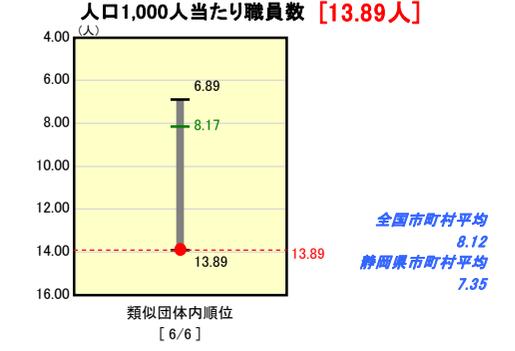
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数：類似都市平均を上回っているが、地価の下落に伴う固定資産税収入の落ち込みから、近年低下傾向にある。税の徴収率向上を図るため徴収担当者研修、大口滞納者に対する処分規定の制定等を行ない効果があがりつつあるため、今後さらに徴収率向上に努める。

経常収支比率：類似都市平均を下回っているが、県平均は上回っている。国・県の平均を大幅に上回る高い高齢化率(31.28% H17.3.31現在)と県内で2番目に高い生活保護率(14.47% H17.3.31現在)により、扶助費等の義務的経費が年々増加している。平成21年度に県平均を目標に人件費等の経常経費削減に努める。

起債制限比率：平成7年度以降の新清掃工場建設事業、学校校舎改築事業等の大規模建設事業に係る起債の償還により、起債制限比率が類似都市平均を大きく上回っている。今後は市債発行額の定額制、定率性を検討し新規大規模事業については出来る限り抑制する等、平成21年度に起債制限比率13%以下を目標に財政運営に努める。

ラスパイレース指数：旧来からの給与体系により類似都市平均を上回る98.9%となっている。平成17年度には各種手当の見直しを行なったが、平成18年度以降、定員適正化計画に基づき更なる人件費総額の縮減を図ると共に、給与構造改革をすすめ適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高：類似都市平均を上回っているが、平成13年度をピークに地方債残高は減少してき